

和歌山病院での実習を終えて



西出 祥太

2月27日、28日の2日間、和歌山病院にて実習させていただきました。

和歌山病院に到着してまず、駿田副院長が結核についてセミナーをしてくださいました。結核の感染様式について詳しく教えてください、とても分かりやすかったです。また、実際にN95マスクをつけさせてもらったり、結核病棟を見学したりすることで、結核への理解がより深まりました。

南方院長には胸部レントゲンの読影について教えていただきました。これまで病院実習で胸部レントゲンを目にする機会は多々ありましたがどこが異常なのかいまいちわからず、胸部レントゲンに苦手意識を持っていました。しかし、今回のセミナーでは、どういう時に線ができるのかの原理から論理的に教えてください、レントゲンの読み方がかなりわかりました。今までよくわかっていなかったシルエットサインについても理解することができました。また、南方院長のセミナーを受けて、考えて勉強することの大切さを学びました。今まで私は理解せず覚えてばかりしていましたが、これからはもっと論理的に考えながら勉強していかなくてはならないと痛感しました

1日目の晩には院長先生にご飯に連れてもらい、楽しくお酒をかわしながら貴重なお話をたくさん聞くことができました。

最後に、南方院長、駿田副院長をはじめ、和歌山病院の先生方、2日間本当にありがとうございました。